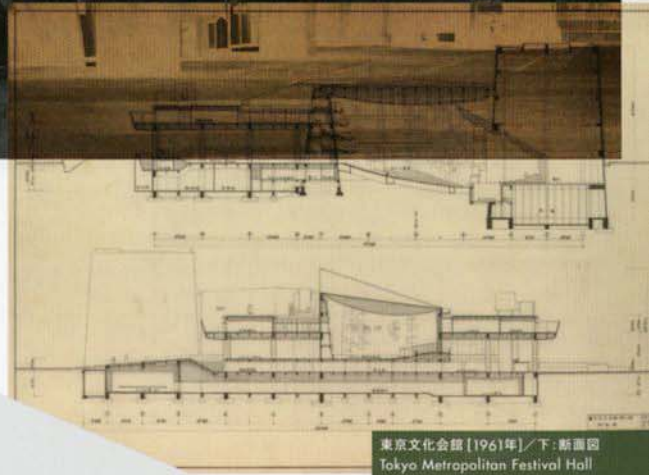
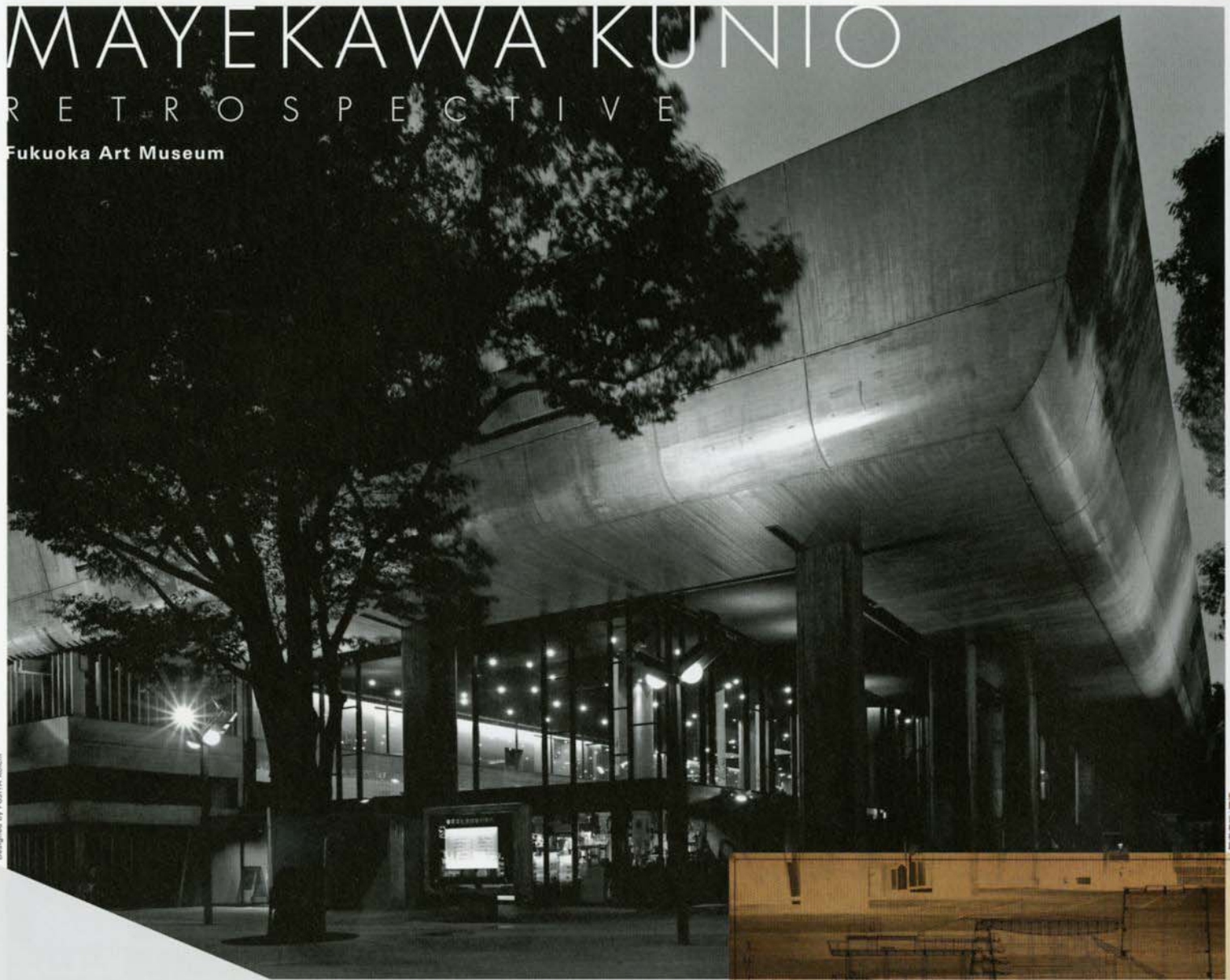


MAYEKAWA KUNIO

RETROSPECTIVE

Fukuoka Art Museum



東京文化会館 [1961年] / 下: 断面図
Tokyo Metropolitan Festival Hall

モダニズムの先駆者
生誕100年

前川國男 建築展

9.22 → 11.5 [日]
2006 [平成18年]

福岡市美術館 特別展示室B

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
Telephone: 092-714-6051
<http://www.fukuoka-art-museum.jp/>

開館時間: 9時30分-17時30分
[入館は17時まで]

休館日: 毎週月曜日
[ただし、10/9(月)は祝日のため開館し、
翌10/10(火)が休館]

観覧料:
一般=500円 [400円]
高・大生=300円 [200円]
小・中生=無料

[]内は前売りおよび20人以上の団体、
シルバー手帳・身体障害者保健福祉手帳・療育手帳保持者、
「ポンペイの輝き」展チケット提示者の割引料金

●前売券販売:
ローソンチケット(Lコード89106)
チケットぴあ(Pコード686-888)

●主催
福岡市美術館
朝日新聞社
九州朝日放送
生誕100年・前川國男建築展実行委員会

●後援
日本建築家協会
日本建築学会
日本建築士会連合会
日本建築士事務所協会連合会
(財)福岡市文化芸術振興財団

●特別協力
前川建築設計事務所

●協力
三菱化学産資
不二産業

●特別協賛
(財)福岡文化財団

●協賛:
アオキインターナショナル、アクタス、
朝日電工、エクスナレッジ、大阪ガスケミカル、
大林組、大本組、鹿島建設、関電工、紀伊國屋書店、
国立音楽大学、建築家会館、ココロファニチャー、
三協アルミニウム工業、三晃金属工業、清水建設、
蛇の目ミシン工業、彰国社、大貫社、大成建設、
タキヤ、竹中工務店、藤村美術織物、天童木工、
東海電機、東洋熱工業、戸田建設、ナカ工業、
永田音響設計、西原衛生工業所、日本電気硝子、
日立ビルシステム、不二産業、北陸アルコン、
前川製作所、マガジンハウス[Eco BRUTUS]、
松下電工、丸茂電機、ミナト建材、森平舞台機構、
ヤマキ工業、ヤマハサウンドテック、ユニオン、
西電工、ロイヤルファニチャーコレクション

M [社]企業メセナ協議会認定

福岡市美術館

前川國男 建築展

RETROSPECTIVE MAYEKAWA KUNIO

本展は、福岡市美術館の設計者でもある建築家・前川國男(1905-86)の生誕100年を記念して開催されます。戦前・戦後を通して日本の近代建築に重要な足跡を残した前川の建築思想を広く検証するものです。

前川は新潟市に生まれ、1928年東京帝国大学工学部建築学科を卒業後、直ちに渡仏して近代建築の巨匠ル・コルビュジエに約2年間師事。1930年の帰国後はアントニン・レーモンドの日本事務所に1935年まで勤務した後、同年仲間とともに「前川國男建築設計事務所」をかまえ独立しました。

前川は、建築技術の近代化や耐震性の向上、高温多湿な自然環境への建築の適応性など様々な問題に取り組み、日本独自の近代建築とは何かというテーマを生涯にわたり追求しました。大きな庇のデザインや、伝統的な焼き物を用いた独自の工法である「打ち込みタイル」、壁に囲まれた空間の単位を組み合わせた洗練された平面プランなど、欧米の建築にはなかった方法論を次々に生み出す一方で、時流に流されない、建築家としてのあるべき姿を示し続けました。

本展では、建築図面、模型のほか、スケッチ、写真、資料などで、約50年におよぶ前川國男の仕事振り返ります。

●前川國男・主な作品と受賞

神奈川県立図書館・音楽堂、京都公会館、東京文化会館、紀伊國屋ビルディング、埼玉県立博物館、東京海上ビル、東京都美術館、熊本県立美術館、福岡市美術館など。日本建築学会大賞、毎日芸術賞、朝日賞、日本芸術院賞などを受賞。

会期中の関連イベント

●ワークショップ——10/7(土)

「福岡市の建築・1日見学バスツアー」

●定員：40人 ●参加費：1,000円（昼食、資料、保険代含む）
●案内役：水野 宏氏(建築家)、廣瀬正人氏(建築家)

香椎浜の斬新な建築から、博多の古い町並み、そして無名と思われた意外な建築まで、福岡市内の建築を見学する1日バスツアー。前川國男展をきっかけに、普段見慣れた建物、町並みを見直してみませんか(コースは計画中です。集合場所、時間など詳しい情報は、当館HP、館内チラシなどでお知らせします)

●要申し込み(応募者多数の場合は抽選)

●往復ハガキまたはFAXで下記まで申し込みください。

申込先:

〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6 福岡市美術館 FAX: 092-714-6145
いずれも、「福岡建築ツアー係」宛 ●本展会場にての直接申し込みも可能です。

●締め切り：9/27(水) ●当日消印有効です

●記念講演会—10/28(土)午後2時~4時頃

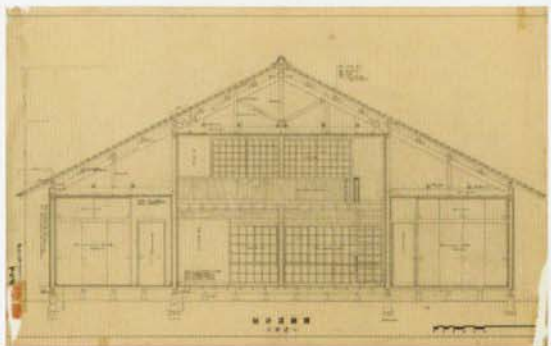
「前川國男と福岡市美術館—美術館建設の舞台裏」

●対談

南條一秀氏(元・前川國男建築設計事務所、現・大日建築設計 取締役)
安永幸一氏(元・福岡市美術館副館長、現・福岡アジア美術館 顧問)

1979(昭和54)年11月3日に開館した福岡市美術館。建設にあたっての前川國男の設計思想や、国内有数の規模をほこる当館の設計過程、そして当時の福岡市を取り巻く美術(館)状況など、当館建設の舞台裏について、当時建設に携った二人のお話をうかがいます。

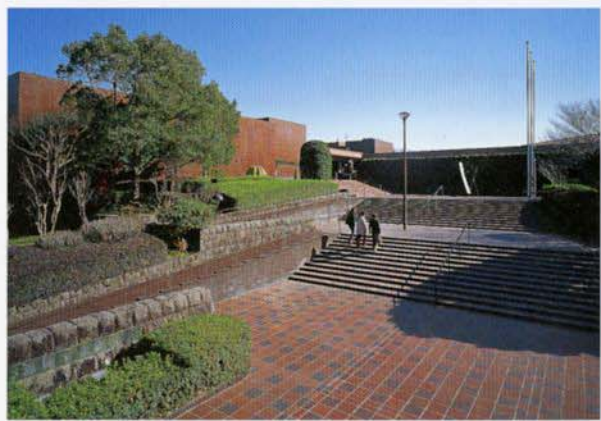
●会場：当館1階講堂 ●聴講無料、申込不要(直接会場へおこください)



1	2
3	4
5	6
7	8

- 1 前川國男自邸 [1942年] 構造図・設計詳細図
- 2 前川國男自邸の居間
- 3 蛇の目シンボル(現・東京大栄ビル) [1965年]
- 4 神奈川県立図書館・音楽堂 [1954年] 音楽室ホワイエ
- 5 福島県教育会館 [1956年]
- 6 東京海上ビルディング(現・東京海上日動ビルディング) [1974年] ツインタワー計画案の模型 ※出品される模型とは異なります。
- 7 紀伊國屋ビルディング [1964年]
- 8 福岡市美術館 [1979年]

1は、前川建築設計事務所蔵/2,3,4,5,7はすべて、撮影:吉村行雄/
8は、撮影:山崎信一



交通のご案内

- 地下鉄
 - ・「大濠公園」駅下車、3番出口より徒歩約10分
 - ・「六本松」駅下車、2番出口より徒歩約10分
- バス
 - ・「城内美術館東口」下車、徒歩約3分
 - ・「赤坂3丁目」下車、徒歩約5分

福岡市美術館

●〒810-0051 福岡市中央区大濠公園1-6
●Telephone: 092-714-6051
●http://www.fukuoka-art-museum.jp/